

2026  
6月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 262 号-① 【基準日 2026 年 5 月 29 日】



## 🌸 社長メッセージ



### 新たな投資先ファンドを追加

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も6月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？既に真夏のような暑さになっている場所も少なくないので、熱中症などに気を付けてくれぐれもご自愛ください。

さて、先月の世界のマーケットですが、米国とイランの停戦合意期待による中東情勢の緊張緩和から世界株式市場はAI半導体関連銘柄を中心に大きく上昇し、日米の主要株価指数は史上最高値を更新した1ヶ月となりました。

米国株は主要株価指数が最高値を更新し、新興国株も大きく上昇しました。特に韓国や台湾の半導体関連株が相場を牽引しました。また、日経平均株価は6万6000円を超えて史上最高値を更新し、月間で約11.8%の大幅な上昇となりました。一方で、金(ゴールド)については小幅に下落しました。為替相場については4月末からGWにかけて政府が為替介入をして1ドル156円台まで円高が進みましたが、徐々に円安が進んで4月の為替介入前の1ドル159円台の円安水準で月末を迎えました。

そのような中でありがとうファンドは月間で+3.8%の上昇となり、基準価額は5万円を突破し、純資産総額は約329億円まで増加しました。特に新興国株ファンドの上昇が大きく寄与しました。



今後の見通しですが、米国とイランの戦争によるホルムズ海峡の実質封鎖が長期化するかどうかで、原油価格高騰や供給制約、世界経済や企業業績への影響が変わってくると考えられます。

米国とイランの早期停戦合意が期待されている一方で、ホルムズ海峡が完全に戦争前の状態に戻るには相当な時間がかかるため、原油価格の高止まりと供給制約は長期間続くとする見方が多く、インフレ圧力は継続し、金利は高止まり、株式市場はボラティリティの高い相場展開が継続していくと思われます。

ホルムズ海峡が封鎖されていることの影響によって、原油の中東依存度の高い日本やアジア各国は戦争前と比較して調達コストの上昇と供給制約によるモノ不足からあらゆる方面に影響が出てくることは避けられそうになく、今後も物価上昇が継続していく可能性は少なくないでしょう。

また、米国とキューバの関係悪化と緊張の高まりなどの地政学的リスクの上昇や米国中間選挙に向けた今後の動向にもマーケットは大きな影響を受けると考えられます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 新たな投資先ファンドを追加

さて、ありがとうファンドでは、2026年5月29日付で信託約款を変更して、中長期的な運用成果の向上を目指して当ファンドが投資を行う投資信託証券を新たに1本追加いたしました。

追加した投資先ファンドは、フェデレーテッド・ハーミーズの米国株ファンド『フェデレーテッド・ハーミーズ・MDT・US・エクイティ・ファンド』です。主に米国株を投資対象とするファンドで、独自に開発したクオンツモデルを用いて投資戦略を実行しています。このモデルは、ファンドの投資対象ユニバースであるラッセル3000指数に含まれるすべての銘柄を、客観的かつ規律ある手法で分析することを目的としており、市場環境や運用者の心理に左右されることなく、銘柄選定に厳格な規律を課すことを目指しています。リスクを管理しながら、長期的なリターンの最大化を追求していて、優れた運用実績を残しているファンドです。



また、運用会社であるフェデレーテッド・ハーミーズは、70年以上の運用経験を有し、グローバルに事業を展開するアクティブ運用の資産運用会社です。長年にわたり培ってきた運用実績と専門的知見を基盤に、パブリック市場およびプライベート市場の双方において、多様な投資ソリューションを提供しています。同社の運用戦略は、グローバルおよび地域特化型の株式運用、幅広いセクターに対応する債券運用、短期資産・流動性管理戦略に加え、プライベートエクイティ、プライベートデット、不動産、インフラといったプライベート市場にまで及びます。各資産クラスに専任の運用チームを擁し、綿密な調査・分析に基づく銘柄選択およびポートフォリオ構築を行っています。世界各国の投資家の多様なニーズに応えるべく、運用体制および商品ラインアップを継続的に進化させ、長期的な運用成果の実現を目指しています

### <フェデレーテッド・ハーミーズ・MDT・US・エクイティ・ファンド>

投資信託協会分類	指定されておりません。
投資顧問会社	フェデレーテッド・エムディーティーエイ・エルエルシー
ファンドの特徴	投資運用者は、独自に開発したクオンツモデルを用いて投資戦略を実行しています。このモデルは、ファンドの投資対象ユニバースであるラッセル3000指数に含まれるすべての銘柄を、客観的かつ規律ある手法で分析することを目的としています。本戦略は、市場環境や運用者の心理に左右されることなく、銘柄選定に厳格な規律を課すことを目指しています。本戦略は、リスクを管理しながら、長期的なリターンの最大化を追求します。
ベンチマーク	ラッセル3000指数
信託報酬（年率）	年率0.55%

米国株へ投資するファンドの選択肢を増やすことによって、ありがとうファンドの運用成果のさらなる向上を目指していきたいと考えております。

ありがとうファンドでは、引き続き投資先ファンドを厳選してダウンサイドリスクを抑えながら、長期国際分散投資で世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受し長期で安定した運用成果の提供を目指して参りますので、引き続きご愛顧の程何卒よろしくお願い申し上げます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです。

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



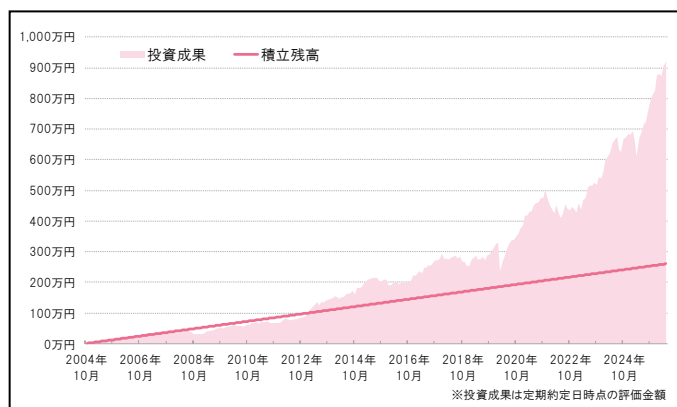
### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

期間	平均取得単価	損益
1年	43,532円	+16.3%
3年	36,263円	+39.6%
5年	31,394円	+61.3%
10年	23,068円	+119.5%
初回(2004年10月)から	13,948円	+263.0%

### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、  
時間を味方につけていきましょう！**

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万9559円
3年	36万円	50万2602円
5年	60万円	96万7599円
10年	120万円	263万3713円
初回(2004年10月)から	260万円	943万7211円

2026年5月29日現在(基準価額:50,628円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、**時間の分散が効果的**です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価が平均化されることで、分散の効果が得られます。

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

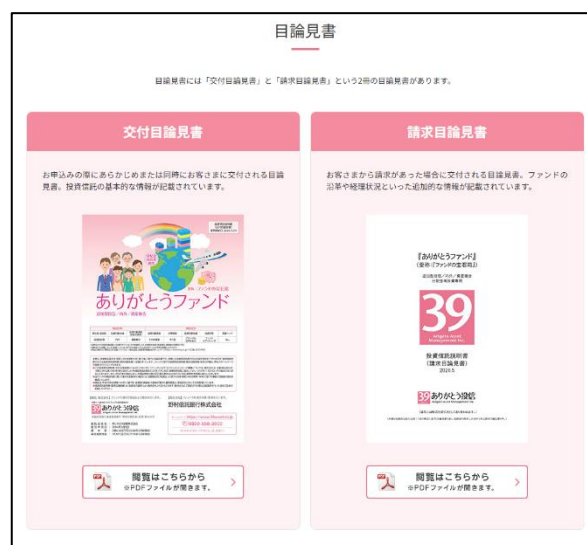
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 目論見書改訂のお知らせ

『ありがとうファンド』の訂正届出書を5月29日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。目論見書をマイページ上または、郵送にて交付させていただきましたので、ご確認いただきますようお願いいたします。

尚、今後目論見書の交付が不要なお客さまは、弊社カスタマーサービス部までご連絡ください。（※但し、目論見書の重要な変更時にはすべてのお客さまにお送りいたします。）

また、ホームページ上にも目論見書を公開しております。こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/prospectus/>)からご覧ください。



## 住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

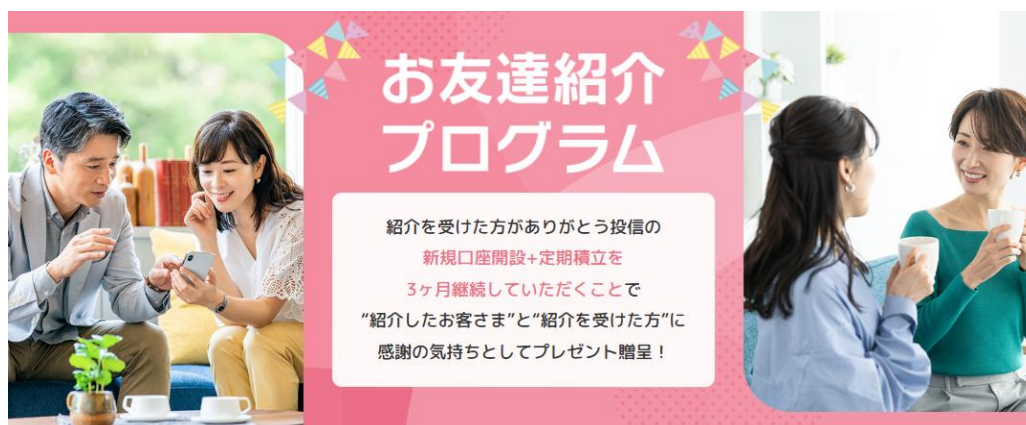
弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できるマイナンバー確認書類と本人確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

## 「お友達紹介プログラム」を開始しました！この機会にお友達に紹介してみませんか？

すでに口座をお持ちのお客さまがお友達をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのお友達でありがとう投信の口座開設に興味をお持ちのかたがおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！  
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

### 金利上昇で何が変わる？奨学金とこれからの教育資金準備！

日本の金融政策が転換期を迎え、長らく続いたゼロ金利・マイナス金利の時代が終わりを告げました。「金利のある世界」へのシフトは、「教育費」にも大きな影響を与えます。特に有利子奨学金を利用する学生は、将来の返済負担に直結します。今回は奨学金制度の基本や利用する際の注意点を解説します。



#### 金利のある世界(=インフレの世界)になるとどうなる？

##### ● 教育費の「額」そのものが増えるリスク

金利が上昇する局面ではインフレ(物価上昇)圧力が強まっています。入学金や授業料といった学費、施設維持費、塾の月謝なども、物価高に連動して値上がりする懸念があります。また、一人暮らしをする場合、生活費や家賃の高騰がそのまま仕送り額の増加につながります。

##### ● 預貯金だけでは価値が目減りするリスク

これまでは「教育費＝安全に定期預金や普通預金で貯める」という考えの方も多かったと思います。しかし、金利のある世界では、預金金利が少し上がったとはいえ、物価上昇のペースに追いつかない場合、現金でただ貯めているだけでは実質的な価値が目減りしてしまいます。



##### ● 奨学金や教育ローンの利息負担が増加

金利のある世界では、お金を「借りる」ときのコストも高くなります。市場金利の上昇に伴い、日本学生支援機構の有利子型(第二種)奨学金の貸与利率が上がると、卒業後の返済総額が膨らみます。また、変動金利型の教育ローンを組んでいる場合も金利上昇とともに返済額が増えることになります。

#### 奨学金とは

日本の大学における利用率は、現在約2人に1人(約5割)に達しており、進学において極めて一般的な選択肢となっています。奨学金は、「返済が不要な給付型」と「返済が必要な貸与型」に大きく分類され、国や自治体、民間団体などが運営しています。国が運営する日本学生支援機構(JASSO)の貸与型奨学金は、第一種(無利子)と第二種(有利子)の2種類に分かれています。

	給付型奨学金	貸与型奨学金	
		第一種奨学金	第二種奨学金
返済	返済義務なし	大学卒業後に返済の必要がある	
金利	給付なのでなし	無利子 借りた金額だけをそのまま返済	有利子 ※年利上限 3% 在学中(在学猶予期間)は無利子 利子が発生するのは卒業後から
給付条件	主に「家計」「学力」「資産」などの条件があり、採用基準が高い。	給付型より採用基準は低い、「家計」や「学力」の基準が比較的厳しめに設定されている。	採用基準は第一種よりも緩く、多くの学生が利用しやすい。

## 貸与型の返済について

### ● 返済開始

貸与が終了した月(卒業月など)の翌月から数えて 7 ヶ月目から始まります。例えば、3 月に卒業して貸与が終了した場合、最初の返済は 10 月です。

### ● 金利

#### 【利率固定方式】

貸与が終了した月に設定された利率が適用されます。貸与終了時に決まった金利が、完済するまで変わらないため、返済計画が立てやすいのがメリットです。



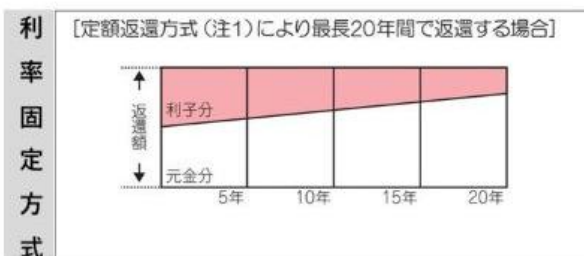
#### 【利率見直し方式(変動金利)】

最初は貸与終了月に決定した利率でスタートし、約 5 年ごとに経済情勢に合わせて金利(利率)が見直されます。将来的に金利が下がれば返済額が減る可能性があります、金利が上がれば返済額も増える仕組みです。

### 利率の算定方法による返還イメージ図

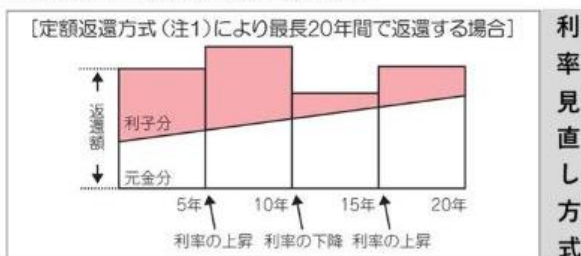
#### (1) 利率固定方式における返還の概略図

利率が返還完了まで一定のため、返還額は一定です。



#### (2) 利率見直し方式における返還の概略図

利率が5年ごとに見直されるため、残元金に対する利子が変わることにより返還額が増減します。



出典:日本学生支援機構 利率の算定方法による返還イメージ

[https://www.jasso.go.jp/news/\\_icsFiles/afieldfile/2025/06/26/riritu.pdf](https://www.jasso.go.jp/news/_icsFiles/afieldfile/2025/06/26/riritu.pdf)

利率固定方式の金利は完済するまで変わりませんが、利率見直し方式(変動金利)よりも高めに設定されています。過去数年の金利の推移は以下のようになっています。

年度(3月時点)	利率固定方式	利率見直し方式(変動金利)
令和5年度	0.94%	0.40%
令和6年度	1.641%	1.10%
令和7年度	2.423%	1.60%

日本学生支援機構 貸与利率の推移より作成

[https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo\\_2shu/riritsu/2007ikou.html](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/riritsu/2007ikou.html)

### ● 金利は「卒業する年」で決まる

最終的な金利は、貸与が終了する月(卒業年度)に確定するため、在学中にいくら利率が変動しても返済額に影響はありません。今後も金利が上がっていった場合、奨学金の利率も申込時より上がってしまう可能性があります。ただし、法律により奨学金の金利は上限が「年3%」と定められているためそれ以上になることはありません。

また、貸与期間が終了する年度の一定時期までは金利方式(固定・変動)の変更が可能です。直近の金利状況を確認してから最終判断することができます。貸与期間が終了した後は、一切変更できません。

### ● 困った時の救済措置

卒業後に失業したり、収入が低くて返還が困難になった場合は、「減額返還」や「返還期限猶予」といった相談・申請窓口が用意されています。3ヶ月以上滞納すると個人信用情報機関(ブラックリスト)に登録され、クレジットカードの作成や住宅ローンなどの審査に影響が出る恐れがあります。返還が困難になった場合は、速やかに手続きをしましょう。

### 奨学金を利用する際の注意点

#### ● 資金が必要になるタイミング

奨学金の初回振込日は「入学後」となるのが一般的で、入学前に必要な初期費用には奨学金を充てることができません。進学前に自己資金を用意するか、別途「国の教育ローン」などを検討しましょう。

#### ● アルバイトのしすぎに注意(給付型の場合)

給付型奨学金は、世帯収入だけでなく学生本人の収入も審査対象です。アルバイトの年収が100万円を超えると支援額が減額される可能性があります。年収100万円を超えた場合は、必ず「勤労学生控除」の申告を行いましょう。



## ● 世帯の税金申告漏れがないか確認

貸与額算定基準額は、課税標準額を基に計算するため、親(生計維持者)の年末調整や確定申告に漏れ(控除の申告漏れなど)があると、奨学金の支給額の減額や不採用になる可能性があるため事前に確認しましょう。

<https://www.jasso.go.jp/purpose/shogakukin/index.html>

日本学生支援機構:奨学金に関する情報を目的から探す

## これからの教育資金準備

### ◆ 「安全資産」で確実に残す

定期預金であれば、メガバンクより金利水準が高いネット銀行を利用するとよいでしょう。また、国が元本を全額保証する個人向け国債(変動 10 年)も金利変動に強い安全資産です。

金利上昇局面では、学資保険の新規加入時の返戻率が改善傾向にあります。ただし、過去の超低金利時代に契約した学資保険は、契約時の低い予定利率(返戻率)で固定されているため、自動的に受取額が増えたり保険料が下がったりする恩恵はありません。しかし、保険を中途解約すると元本割れを起こすリスクが高いため、慎重な検討が必要です。



### ◆ 「長期・積立・分散」でインフレに対抗する

金利がつく世界では、利益がさらなる利益を生む「複利効果」が資産形成の強力な武器になります。教育費は 10 年～15 年先の支出になることも多いため、その期間を活かして投資信託などを活用した積立投資が有効です。少額からコツコツと積み立て、長期で運用することで、相場の変動リスクを抑えながら安定した成長が期待できます。

ただし、教育資金が必要なタイミングで相場が急落すると元本割れの可能性があるため、売却時期は少し幅を持たせて計画するのが安全策となります。

### ◆ 奨学金や教育ローンの「借り方」に要注意

奨学金(特に第二種奨学金などの利息付きのもの)や民間の教育ローン(変動金利型)の借入期間が 10 年～20 年と長期にわたる場合、返済途中で市場金利が上昇するリスクがあります。金利が上がった際、毎月の返済額が増える、あるいは返済期間が延びるなどの影響が生じ、将来の生活を大きく圧迫することになりかねません。「いくら借りるか」だけでなく、奨学金の上限金利「年 3.0%」など金利が上昇した場合の返済シミュレーションをあらかじめ行って無理のない返済計画を立てることが重要です。

#### ◆ 公的支援・補助制度を使う

返済不要の民間財団や大学独自の奨学金、経済的に困難な学生向けの経済支援制度など多数の選択肢があります。早めの情報収集し、条件に当てはまるか確認しましょう。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/dantaiseido/index.html>

日本学生支援機構:大学・地方公共団体等が行う奨学金制度

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/coronavirus/benefit/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/benefit/index.html)

文部科学省:経済的に困難な学生・生徒が活用可能な支援策

教育資金準備の基本は、「計画的準備」を「早期にスタート」して必要な時期にお金を用意できていることです。まずは児童手当などの貯められるお金を全額貯蓄し確保しましょう。そのうえで、余剰資金を金利上昇のメリットが享受できる積立投資にまわすなど、「安全確実な資産(預貯金や国債)」と「インフレに強い資産(投資信託など)」のバランスを意識することが重要になってきます。

奨学金、教育ローン、学資保険、投資信託など、それぞれの制度や商品の特徴を理解し、ご家庭ごとの収入や教育方針に合わせ、無理のないペースで長期的な計画を立ててみてください。まずは現在の資産状況を見直し、今できる一歩から始めてみましょう。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。  
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



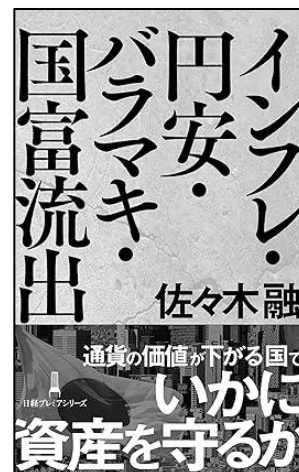
### ～今月の一冊～

## インフレ・円安・バラマキ・国富流出（日経プレミアシリーズ） 新書 - 2026/1/25 佐々木融（著）

今月は経済ニュースのコメンテーターとしてもお馴染みのトップ為替ストラテジストである佐々木融さんの新書をご紹介します。

本書では円安と物価上昇によって庶民の生活が苦しくなっている日本経済の現状について、円安の根本原因をわかりやすく解き明かして、今後起こりうるシナリオと防衛策を提示してくれています。

実質金利が大幅にマイナスになっており、円の価値が毀損し続けている中、現金や預貯金では資産を守れなくなってきました。なぜ、円の価値が下がり続けているのか、そして、どのように資産を守るべきなのかについて詳しく解説されています。



中東情勢が緊迫化する中、日経平均株価は 6 万 6000 円を超えて史上最高値を更新していますが、バブル経済の頃のような高揚感も経済の過熱感も感じられません。名目の株価が上昇して最高値を更新しているのは単にインフレによってモノの価格が上がり、おカネの価値が下がっているからとも考えられます。

悪循環に陥ってしまっている日本経済の危機の本質を把握し、インフレが進行していく時代をどう生き抜いていけばよいのか、そのヒントを知りたい方は是非読んでみてください。

## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2026年 6月分	4月30日(木)	5月27日(水)	6月8日(月)	6月16日(火)	6月18日(木)
2026年 7月分	6月4日(木)	6月24日(水)	7月6日(月)	7月14日(火)	7月16日(木)
2026年 8月分	7月3日(金)	7月27日(月)	8月6日(木)	8月17日(月)	8月19日(水)
2026年 9月分	8月5日(水)	8月26日(水)	9月7日(月)	9月15日(火)	9月17日(木)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

6月1日(月)	銀行休業日	アイルランド	6月19日(金)	奴隷解放記念日	ニューヨーク
6月23日(火)	建国記念日	ルクセンブルグ	7月3日(金)	独立記念日(振替)	ニューヨーク

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.30% ± 0.15% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。